

今日の説教のポイント<創世記 27 章>

「祝福」獲得を巡る人間の騒動の果てに見えて来るものは何か？

①嘘と狡猾な手段を用いて祝福を手に入れたヤコブとリベカ

悪知恵を巡らすリベカ。見事に偽りのエサウを演じるヤコブ。誰も好感を覚えないこの二人。しかし、「祝福」は彼らの計画通りヤコブのものとなった、と聖書は告げます。一体どういうことでしょうか？！

②祝福を手に入れた二人に訪れたものは？ 怯えと逃走！

「祝福」をまんまと手に入れた二人。しかしその二人に待っていたものは祝福でしょうか？ 違います、「祝福」を騙し取られたエサウの報復を恐れての怯えと逃走でした。祝福とは全く逆のものだったのです！ どういうことでしょうか？！

③しかし、ヤコブに祝福が行くことは神が元々考えられていたこと！

考えてみると、弟のヤコブに「祝福」が行くことは、生まれた時から神様から告げられていたのではないのでしょうか(25:23)？ どういうことでしょうか？！

④エサウは嘆き怒る。しかし後に、恵まれ、満足している！

「祝福」を奪い取られたエサウの嘆き悲しみ、そしてそこから生まれた怒りの思いは尋常ではありませんでした。しかし聖書は、長い年月の末、エサウからそれらの思いがすっかり消えている姿を報告するのです(33:9 「弟よ、わたしのところには何でも十分ある。お前のものはお前が持っているなさい」)。どういうことでしょうか？！

⑤神はすべての人に役割と恵みを備え給う。人はそれを思い通りにしようとして話をややこしくするが、最後には神の御旨は成る！

神様は、エサウにも、以前にはイシュマエルにも(16:10 以下、21:18、25:6、12 以下)、そして全ての人に恵みを与えて下さるお方なのです。しかし、私たち人間は、自分の思う幸いを自分の思い通りに手に入れようとし、それが話をややこしくしてしまうのです。この話はそのことを伝えようとしているのです。では、「祝福」とは何か？ 神様がすべての人にご自身を伝えるために、その務めを託された者の系譜です。大事なものは、この神様を知らされた者は、結局、皆この系譜に属することになるということです。その恵みと役割を私たちも覚えたいと思います。